

未来へ、
想いをつなぎ続ける

インヘリット

INHERIT

はやぶさ2・^{そら}宙への夢と挑戦をのせて

Dream and Challenge in HAYABUSA2

監督・演出：新井総 監修：吉川真 (JAXA 宇宙科学研究所 はやぶさ2プロジェクト)

声の出演：佐々木蔵之介 / 櫻井孝宏 (ダブルキャスト)、早見沙織、高橋玲生、新津ちせ

作曲：林祐介 特別出演：津田雄一 (JAXA 宇宙科学研究所 はやぶさ2プロジェクト)

映像制作：ライトブレイン 共同企画・共同制作：高崎市少年科学館 企画・製作・著作：日本科学未来館

Director: Arai Soh Supervisor: Yoshikawa Makoto (ISAS/JAXA HAYABUSA2 PROJECT)

Cast (voice): Sasaki Kuranosuke / Sakurai Takahiro (Double cast), Hayami Saori, Takahashi Reo, Niitsu Chise

Music: Hayashi Yusuke Special Appearance: Tsuda Yuichi (ISAS/JAXA HAYABUSA2 PROJECT) Film Production: RIGHT PLAIN

Joint Planning / Co-production: Takasaki Youth Science Center Planning, Production, and Copyright: Miralkan - The National Museum of Emerging Science and Innovation

投影期間 2023年3月11日(土)～6月4日(日)

投影スケジュール等は都合により変更になる場合があります。
最新の情報をホームページでご確認ください。

木曜日 (3月30日、4月6日、5月4日、6月1日を除く)

15:30

土曜・日曜・祝日 (5月3日を除く)

11:30 / 13:30

春休み期間の火～金曜日 (3月28日～31日、4月4日～7日)

11:00 / 13:00

※5月3日(水・祝)は開館記念日無料公開のため本番組の投影はありません。※6月1日(木)は保守点検のため、投影はありません。

■ 投影時間 約50分(星空の生解説約22分と番組「INHERIT(インヘリット)」28分)

■ 料金 プラネタリウム観覧料 一般410円 中学生以下210円 ■ 所在地 川口市上青木3-12-18 SKIPシティ内

■ TEL 048(262)8431 ■ ホームページ <http://www.kawaguchi.science.museum/>



川口市立科学館
Kawaguchi Science Museum



インヘリット INHERIT

受け継がれる技術と情熱が、次世代への推進力になる



i n t r o d u c t i o n

技術者へのインタビューを交えながら描く、
「はやぶさ2」の挑戦と継承される夢

本作は、小惑星探査機「はやぶさ2」と、その開発に携わった人たちの「継承」をテーマにしたドーム映像作品です。世界で初めて、小惑星から地下物質を採取することに挑戦した「はやぶさ2」。そのための各パーツを手掛けた、企業の方々の熱い想いを紹介します。時を超えて継承される先人たちの知見、今を生きる私たちが手を取りあって積み重ねる研究や技術。すべての人のつながりが、新しい世界へ挑戦する力となっているのです。



s t o r y

「僕にできること、僕だけの役割って、何なんだろう」

星を見上げて、ふと自分の存在の頼りなさに不安を覚えた少年。彼の自問をきっかけに展開されるのは、星空の謎に挑み続けた人類の歴史、その想いを受け継ぐ「はやぶさ2」の成果。さらに独自の先端技術や匠の技を生かしてミッション成功を支えた、技術者たちの現場の声です。交差しながら進む、「はやぶさ2」と、未来へバトンをつなぐ子どもたちのシーン。妹ととりとめのない話をしながら、少年は、何か答えにたどりつけるのでしょうか――。



credit

監督・演出：新井総 脚本：三苫香 監修：吉川真（JAXA 宇宙科学研究所 はやぶさ2 プロジェクト） 声の出演：佐々木蔵之介 / 櫻井孝宏（ダブルキャスト）、早見沙織、高橋玲生、新津ちせ 作曲：林祐介 特別出演：津田雄一（JAXA 宇宙科学研究所 はやぶさ2 プロジェクト）
出演：はやぶさ2の製作に関わった企業の方々 撮影協力：JAXA、IHI エアロスペース、石川製作所・タマテック、下平製作所、ティ・ディ・シー、日本工機、日本飛行機 映像制作：ライトブレイン 共同企画・共同制作：高崎市少年科学館 企画・製作・著作：日本科学未来館